

福井カーボンニュートラル

～「海の漂流物」で未来とつながろう！～

カーボンニュートラル？未来とつながる？ 見て、聞いて、体験してみよう！



【参加者の感想】

- 未来の地球のために、いろいろしてみたくなりました。
- 町中にポイ捨てされているたくさんのゴミが、いつか川に流れて海に行ってしまう。ポイ捨て自体やめて、捨てることもして、リサイクルできるものはいっぱいあるからリサイクルもしたい。
- プラスチックには種類があって、溶ける温度などが種類で全然違うことが分かった。
- フレコンバッグに入れたゴミの処理費用がここ数年で何倍にもなっていて、ゴミの処理にもこんなにお金が使われているのだということに驚いた。
- 小浜の海のゴミも知っているけど、他の海にもこんなにゴミがあるのかとびっくりした。

1. 今日の「知りたい」ことは、何かな？

- カーボンニュートラルとは何のことか。
- どんなものづくりをするのか。
- プラスチックの海ゴミはどう処分するのか。
- プラスチックをうまく活用する方法は何か。
- 学校で習ったインフラ(ゴミの)に関わること。

2. 「カーボンニュートラル」って、なんだろう？

- 世の中全体の、出るCO₂と吸収されるCO₂の量を同じ量にする取り組み。
- 人間が出す二酸化炭素と、植物が吸う二酸化炭素の量を一緒にすること。
- 脱炭素です。



4. もっと「知りたい」ことは、何かな？

- みんなは福井の未来のために何をしているか。
- 先進国の取り組みを知りたい。
- 再生プラスチックの仕組みをもっと知りたい。
- マテリアルリサイクルがもっと進む方法。
- 海ゴミがなくなる日はあるのか？

3. 「ふくいの未来」のために、何がひつようかな？

- 多人数で移動するときは、バスや電車を使う。
- 環境意識を住民が高めること。
- マテリアルリサイクルしやすいものを使う。簡単に捨ててしまうようなものを買わない。
- お金と人の知恵。

開催日

会場

協力団体・参加者

令和5年8月12日(土)

水口木材株式会社
(コワーキングスペース)

ものづくり交流拠点 トンカンテラス
県内小学生9名(4～6年生)

ご参加ありがとうございました！